

小1国語 出題のねらいと対策

1 ひらがな 92.9%

ねらい：ひらがなの正しい使い方について知識を問う。

分析と対策：ひらがなを読む問題です。「あ」と「お」, 「こ」と「に」, 「き」と「さ」, 「ぬ」と「め」, 「る」と「ろ」などのように、形の似た字は読み間違える可能性があるなので注意が必要です。

2 ひらがなをかく 74.6%

ねらい：ひらがなの正しい使い方について知識を問う。

分析と対策：ひらがなを書く問題です。小さい「や」「ゆ」「よ」「つ」は、書く大きさや書く位置などに注意し、「や」「ゆ」「よ」「つ」との違いを理解しておきましょう。また、濁音・半濁音の表記を正しく理解しているか確認しておきましょう。「めがね」「ぼうし」「かっぱ」「しよがっこう」など、音が濁ることばの表記に注意し、苦手な字がなくなるようにしっかり復習しておきましょう。「ぼうし」「かっぱ」は、濁音と半濁音を混同しないように注意しましょう。ひらがなを書く練習をする場合は、まず、手本となる字をしっかりと見て、それを正確に写すことから始めましょう。

3 ただしいぶん 72.5%

ねらい：ひらがなの正しい使い方について知識を問う。

分析と対策：「オー」と伸ばす音のオ段長音の表記は、原則として「ぼうし」「こうえん」のようになりますが、「とおい」「おおきい」「おおかみ」といった例外もあります。「を」と「お」, 「は」と「わ」, 「へ」と「え」の使い分けにも注意しましょう。

4 くとうてん 12.9%

ねらい：句読点についての知識を問う。

分析と対策：句点(。)は必ず文末につきます。読点(、)は文に区切りを入れる符号です。読点を打つ位置は、「声に出して読むときに、どこで間をとるとわかりやすいか」と考えるのがよいでしょう。実際に、長い文章を句読点なしで書いたり、区切りなしで朗読したりして、不自然な文章になることを確認してもよいでしょう。原稿用紙に書くときの句読点や符号の表し方も確認しておきましょう。どの符号も、原則、一字一マスをとります。行の終わりに最後の字と句読点がきたときは、例外として、その字と句読点を一つのマスに書きます。また、かぎかっこを閉じる符号と句点を一つのマスに書く場合もあります。

全体の平均点は 61.1点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。